



GCOE シンポジウム

「物性・デバイスから見た無機物質化学」

昨今の材料化学の発展はめざましく、日々新しい物質が開拓されています。また、そのような材料はこれまでにない新規な物性を示すことが期待され、さらに新機能を持つデバイスへと発展させることは材料開発の目標でもあります。このような材料からデバイス開発までを行うには、多くの研究者がそれぞれの強みを生かし、連携して研究を行っていくことが有効であると思われます。ニーズに即した材料開発は研究を加速化するはずです。また、意外なヒントや、実は簡単に合成できる材料の思いもしない活用が見つかるかも知れません。

このシンポジウムでは、新物質の物性研究あるいはデバイス開発の分野において第一線でご活躍の講師の方をお招きして、材料開発研究と物性デバイス研究との接点を探っていきたいと考えております。また、御講演の後に、総合討論の時間を設けました。今後のデバイスを見据えた材料開発への指針となる議論の場にして頂ければと思います。興味のある多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2011年11月18日（金）13：30～17：20

場所：北海道大学工学研究院 1階 B-12 講義室（工学部正面玄関入って直進すぐ）

参加費：無料

プログラム

13:30～14:15 「低温化学による酸化物の組成、構造、物性制御」

陰山 洋（京大院工）

14:15～15:00 「半導体スピントロニクス素子のためのトンネル障壁層の開発」

齋藤秀和（産総研）

休憩

15:15～16:00 「 $12\text{CaO} \cdot 7\text{Al}_2\text{O}_3$ 系結晶の電子化物と水素化物」

林 克郎（東工大応セラ研）

16:00～16:45 「振レーザーマテリアル研究による高機能レーザーの研究開発」

和田智之（理研）

16:50～17:20 総合討論「物性・デバイスが求める無機材料 ～こんな材料作ってください～」

○当日参加も可能ですが、人数把握のため、事前にご連絡頂ければ助かります。

懇親会（有料）も予定しておりますので、そちらの出欠もご連絡ください。

連絡先：長浜太郎 （北海道大学工学研究院 物質化学部門）

電話 011-706-6578 nagahama@eng.hokudai.ac.jp